

新井中央小だより

No. 282

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2023 (令和5) 年4月24日

令和5年度がスタート

4月7日(金)、例年になく早い春の訪れに「花たちが舞い(新井中央小学校 校歌3番)」「鳥たちが歌う(同2番)」という歌詞通りの風景の中で、44人の1年生を迎え、入学式を行いました。新入生は全員揃って入場し、呼名にも元気いっぱい返事をすることができました。本年度の新井中央小学校は、全校児童284人でスタートです。

その入学式で、新1年生に2つの話をしました。1つは、「話している人に目と耳と心に向けて、しっかり話を聞く。」そして、もう1つは「決して道路に飛び出さない。」です。この2つは、新1年生だけではなく、すべての学年の子どもたちにとっても、重要なことだと考えています。

「しっかり話を聞く」は、学習の基本的な心構えやスキルであると同時に、それは教師の説明等を聞くだけにはとどまらず、子ども同士の場でもとても大切なことです。相手の話をしっかり受け止めようとする事は、相手の意見はもちろん、相手そのものを認め、尊重することにつながります。そこから思考の広がりや深まりも、そして他者への共感や受容も生まれてくるはずです。共感的・受容的な人間関係の土台があれば、自分の意見をみんなに伝えようとする意欲も高まるはずです。「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」という当校の合言葉に通じる部分であり、学習指導要領でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現にも不可欠な要素です。

一方、交通事故は、私たちの社会生活において、最も身近で、最も深刻な「命を脅かす危機」の場面です。楽しい学校生活も、豊かな学びも、なにもかもが「命」あってこそ話です。勿論、私自身を含めた大人も、交通事故に遭ったり、事故を起こしたり、という危険と毎日隣り合わせで暮らしています。一瞬で命を失う交通事故、普通に出かけて行って二度と帰ってこれない、という悲劇を決して新井中央小から出さない、という決意を年度の初めに皆様とともに確認したいと思います。新井中央小学校の大切な合言葉、「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の大前提として、「自他の命を大切にすることこそが、決して譲れない部分です。「まずは、命」、その原点を決して忘れずに、充実した楽しい一年になるよう、職員一同、精一杯頑張ります。

本年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(校長 村治 隆夫)